

令和元年第1回鶴田町総合教育会議会議録

1 期 日 令和元年5月23日(木)

開会 午前10時

閉会 午前10時57分

2 場 所 鶴田町役場3階301～303委員会室

3 案 件 ①学校教育施策の大綱の改正について

②学校給食に係るご飯持参について

(本年度2学期以降の給食メニューについて)

③その他

4 出席者氏名

相川正光町長、竹浪勅佑教育委員、竹浪誠也教育委員、長内公人教育委員、
木村繁子教育委員

5 説明のために出席した者の氏名

中野伸康総務課長、八木橋成人教育委員会教育次長、駒井宏俊学校給食共同調
理所長、一戸泰人教育委員会学務総務班長、工藤貴寛総務課人事行政班長

6 会議内容

(相川正光町長あいさつ)

おはようございます。皆様方には、大変忙しい中、令和元年第1回の鶴田町総合教育会議にご出席いただきましてありがとうございます。そして、日頃より教育行政に多大なるご尽力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

町の最大の事業は統合小学校を完成させて、来年の4月開校することです。ハード事業については、給食センターの足場もとれて外観も見えてまいりました。校舎と給食センターは今年度内に完成となります。体育館につきましては、1階が学童保育の施設、2階が体育館となります。この補助事業につきましても県や国に要望活動をしています。先般副大臣に要望活動をおこなってきております。今年度中に体育館の着工を目指していきたいと思っています。

ソフト事業につきましても、スクールバスの会社が決まり、内部で運行についての協議をおこなっていると思っています。

各小学校では、閉校に向けた式典等の準備もされているようであり、今年から来年にかけて準備など忙しい時期に入っていると思います。教育委員の皆様にもより一層お力添えを賜りますようお願いしたいと思っています。

今日は教育施策の大綱の改正。大綱の策定、改正は総合教育会議で協議しなければならないことになっております。それを議題にしながら、教育委員会からは学校給食のメニューについて提案されています。この二つの議題を中心にしながら、会議を進めていきたいと思っています。メニューについて、米粉パンを導入する際に総合教育会議を開いて協議をした経緯があります。そういうことでよろしくお願いします。

①鶴田町教育施策の大綱の改正について

(中野伸康総務課長説明)

ただいまの説明について、何かございませんでしょうか。

(相川正光町長)

一点だけ私の方から、今までの大綱は平成29年度まで、総合教育会議の開催が遅くなったことを申し訳なく思っております。

今の説明のとおり、大綱の改正については字句の修正、名称の変更などです。

(竹浪誠也委員)

最初の計画期間の前、「また」ではなく「なお」の方が良いと思うので検討したらどうでしょう。

(中野伸康総務課長)

皆さんどうでしょうか。

「なお」の方がよろしければ、そのように変更をします。

(各委員)

はい。

(中野伸康総務課長)

そうすれば、「また」のところは、「なお」に変更します。

(中野伸康総務課長)

他にはどうでしょうか。

(八木橋成人教育次長)

昨日の定例の教育委員会で話があったことは伝えていきます。基本的に総務課長からも説明があったとおり、町の総合計画を基に作成していることもあり、委員の皆さんからは、「米食文化」を「米文化」に直すと文化の部分で幅が広がるという意見が出ております。6校を統合した後の統合小学校では、体験学習については、逆に今までやっていたことが出来なくなる状況になるので、幅を広げた表現はどうかということでしたが、基本的には総合計画に基づいた案ということで、総合計画、朝ごはん条例の表記も「米文化」を使っております。総務課サイドの意見としては、総合計画、朝ごはん条例

に習うことにしたので、それも踏まえて皆さんからのご意見をいただければと思います。

(中野伸康総務課長)

皆さんの方でどうでしょうか。よろしいでしょうか。

そうすれば、先ほどの「また」を「なお」に変えて改正いたします。

次に学校給食に係るご飯持参について、教育次長から説明をお願いします。

②学校給食に係るご飯持参について

(本年度2学期以降の給食メニューについて)

(八木橋成人教育次長)

案件②学校給食に係るご飯持参について、本年度2学期以降の給食メニューについて説明いたします。資料は、A4の色がついて、タイトルは本年度2学期以降の給食メニューについてです。

当委員会では、現在建設中の新学校給食センターが本年度2学期から本稼働することに伴いまして、新メニューとして麺類の提供を計画しています。これは建設当初から新たな学校給食センターが出来たらメニューの見直しと、出来れば麺類の提供も考えて進めてきた経緯があります。②として、導入に向けて麺類の納入業者との協議を行っておりますが、納入業者によりますと現在納入可能な曜日は木曜日のみが可能と回答を得ております。この津軽地域で麺類を提供できる業者としては、具体的には竹鼻製麺さんになります。ただ通常の麺を持ってくるのではなく、給食用に麺を温かい状態で提供していただくことが必要になりますので、そういう体制が整っているのが竹鼻製麺さんということで協議をしております。その中で、他の学校との兼ね合いもあり、麺類を配送出来るのは木曜日と回答をいただいております。

③この業者からの回答を受けまして、当委員会では毎月第1・第3木曜日を麺類の提供日として、これに併せて毎月第1・第3水曜日の月2回の米粉パンの提供を第2・第4の木曜日に変更し、毎週木曜日には麺類と米粉パンを交互に提供することを検討しています。色付きのカレンダーをご覧ください。左側が現行の実施状況です。黄色いところがご飯の持参日です。現在は月曜日と木曜日をご飯持参日です。第1・第3が米粉パンの提供日です。これを給食センターが完成した右のカレンダーを見て下さい。毎週月曜日をご飯持参日で変わりません。毎週木曜日の第1と第3を麺類の提供日、第2と第4を米粉パンの提供日にしたいと考えております。

④これに伴いまして、これまで月曜日と木曜日の週2回のご飯持参日を月曜日のみの週1回にすることで検討しています。④につきましては、3月の議会で議員からの意見も踏まえてです。議会からは、今整備中の給食センタ

一でご飯の自炊設備を持つのであれば、ご飯持参日をなくするか、あるいは少なくしてはどうかと意見をいただいています。教育委員会の定例会の中でも、この件は議題として、何度か検討をしてきました。但し議会の意見も踏まえつつも、朝ごはん条例制定の町としても、ご飯持参日をなくしてしまうのはどうなのかという意見もございますので、月曜日のご飯持参日を残して、週2回を週1回にしてはどうだろうかということで検討しているところです。私の方からの説明は以上です。皆さんからの意見をお願いします。

(中野伸康総務課長)

皆さんからのご意見をお願いします。

(竹浪勅佑委員)

お金はどうなのか。

(八木橋成人教育次長)

お金は、今現在の給食費の中で、賄えることで積算をしています。値上げをしないということです。

(竹浪勅佑委員)

このように変更したので、別に新たにということは？

(八木橋成人教育次長)

今は考えておりません。基本的には今の給食費の中で賄っていきたいと考えています。

(中野伸康総務課長)

はい、他にありませんか。

(相川正光町長)

木曜日にパンと麺を交互に出すことで、米飯給食が週4回になります。私の認識では、1回削減して4回にしても少なくないと思っています。委員会の方で週4回というのは、県内の状況、全国の状況と比べてどういう認識持っていますか。

(八木橋成人教育次長)

県内、全国でご飯食を週に何回、提供しているかは把握しておりません。ご飯持参については、給食センターを建て替えていくと同時に持参日をなくしているところが県内でも多いです。そこについては、定例会でも説明をしています。委員の皆さんからは、朝ごはん条例を制定している町としてなくしてしまうことは出来ないという意見でした。ご飯食の調査はしておりません。申し訳ございません。

(相川正光町長)

私の認識は、国では週4回を目指していることなので少なくないと思っています。朝ごはん条例の中でも保護者の責務と出てますので、保護者の理解

を得る努力は必要と思っております。

(中野伸康総務課長)

皆さんから、ご意見ありますでしょうか。

(竹浪誠也委員)

先ほどの大綱でもありましたけど、朝ごはん運動にこだわった町づくりを目指すことで、ご飯持参日を残すことは、少なくとも月曜日は、朝にご飯を炊くことになります。朝ごはん運動、条例は、学校の給食の問題ではなくて、家庭の教育力の問題と思っています。ご飯持参というのは、そういう意味で捉えたいと思っています。

(相川正光町長)

朝ごはん条例の中で、子ども達の朝食の欠食率を減らすことの家庭の役割は大きいと思います。そのことを含めて保護者の責務があると思います。月曜日にご飯を持参することは、その趣旨を理解してもらうことも含めて、保護者の理解を得る努力をしていかなければと思います。

(竹浪誠也委員)

500人の学校であれば、ご飯持参日に何人かは持ってこれない子、持ってこない子はいます。良いか悪いかは別として、パックご飯を冷凍にして、レンジして子ども達にあげたりしてます。ご飯持参を残しておくとは必ずそれは出てきます。だからといって持参日を全部なくすることではなくて、それはそれで対応していく手立てがないわけではないです。

(相川正光町長)

今まで週2回やってきて、どういう状況だったか。

(八木橋成人教育次長)

持ってこれない子も実際にはいます。数は多くないです。家庭によっては、毎回ではないと思いますが、持ってきてないときもあると聞いています。

(竹浪勅佑委員)

持ってこないときもあるんだ。

(八木橋成人教育次長)

毎回ではないけれど、持ってこれないときもあると聞いています。

(竹浪勅佑委員)

いつも持ってこない子は？

(八木橋成人教育次長)

いないと思います。そのときで持ってこない子はいると聞いています。

(中野伸康総務課長)

たまたま忘れたという子はいるとは思います。

(竹浪勅佑委員)

たまたま持って来れなかったなら良いけど、毎回は大変な話だと思う。

(相川正光町長)

週2回持参日を設けて、校長から意見とか出たことあるのか。

(八木橋成人教育次長)

ないです。先ほどの関連として、朝ごはんを食べてこない子もいます。学校側としては、校長の判断にもよりますが、校長が個人的に準備して食べさせているケースもあります。例をあげると、母子家庭なのですが、朝に子どもが出てくるときにお母さんが起きていないで、校長先生が毎日迎えに行って、ご飯を食べていないときは、ご飯を食べさせている話を聞きました。そういう子はお昼ご飯も持って来れない。そういうケースもあります。

(相川正光町長)

新聞テレビを見れば、子ども食堂などニュースになっています。今のところは、大きな課題にはなっていないということでしょうか。

(八木橋成人教育次長)

恒常的に持ってこなくて、その子の給食をどうするかではないです。

(竹浪誠也委員)

学校もそれなりの対応をしていると思う。

持ってこない子には、学級の担任が少しづつ分けてもらって対応しています。恒常的に持って来れない子は別な問題と思う。家庭環境の問題にもなってくると思います。

(中野伸康総務課長)

朝ごはん条例の趣旨からいっても、朝ごはん炊いて、朝ごはん食べさせて、ご飯持参させる習慣が一週間に1回でも必要ではないかと思います。

(八木橋成人教育次長)

習慣づけのきっかけということです。

(竹浪誠也委員)

給食実施していない町は？黒石は全部やっている？

(八木橋成人教育次長)

やっているはずです。

西北五は、みんなやっています。給食連絡会がありますので、但し自校式、センター式はそれぞれあります。

(相川正光町長)

中学校ではやってないところあるのでは？

(八木橋成人教育次長)

あります。

(竹浪誠也委員)

毎日、弁当持参？

(八木橋成人教育次長)

そうですね。

(中野伸康総務課長)

他に皆さん、ご意見ありませんか。

(八木橋成人教育次長)

ここで提案する前には、教育委員会の定例会で協議しています。そして、町長との協議ということです。そういう方向で話をしますということです。

(中野伸康総務課長)

その方向での了承は教育委員会では得ているということでしょうか。

(八木橋成人教育次長)

はい。町長の意見としてどうかという協議をいただければと思います。

(中野伸康総務課長)

皆さんどうですか。

(相川正光町長)

私は、最初から子ども達がパンや麺を給食に出してほしいことで、子どもの声は大事にしていきたいと思っています。週1回木曜日に交互に提供できることはありがたく思っています。月曜日1回ご飯持参となりますけど、これは家庭の理解を得るように努力していかなければいけないと思います。

新しい給食センターによって、メニューはどうなるのか。

(八木橋成人教育次長)

個別には聞いてませんが、栄養士の先生からは、他の市町村の状況も把握しながらバリエーションを増やすことで検討をしています。例えばグラタンです。今までは調理機器の関係で焦げ目を付けられなかったので、そういうものも提供が出来るということで考えています。

子ども達が喜んでもらえる給食となると思います。但し考えなければいけないのは費用です。給食費の中でどれだけ賄えるかという問題です。とりあえずはその枠組みの中でやっていくことで考えています。高級なものを食べさせると金額は掛かってきます。安く良い物を提供していきたいと思っています。

(竹浪勅佑委員)

あと保管するのに大変だと思うけど、食器類も揃えてほしいです。

(八木橋成人教育次長)

新しい給食センターの整備に併せて、食器も新しくします。今まではカレー皿はなくて、ご飯とカレーは別々だったけど、今後はカレー皿を準備して提供することになります。麺類についても、以前は小さい器に麺を入れて冷

たくなってましたが、先ほど話したように業者から温かい麺を提供してもら
うし、容器もさめないもので準備をします。

(竹浪勅佑委員)

食というのは大事なので、子ども達が給食を喜んでもらえる環境を作っ
てほしいです。

(八木橋成人教育次長)

限りがある予算でありますけど、新しい食器を導入して合ったもので提供
していきたいです。

(相川正光町長)

正面が給食センターになります。道路から見ても学校でなく給食センター
が前になります。

(中野伸康総務課長)

そうすれば、給食メニューにつきましては、月曜日がご飯持参の日で、木
曜日がパンと麺と交互になることでよろしいでしょうか。

その他、皆さんから何かございますでしょうか。町としても統合小学校が
メインとなっています。

(八木橋成人教育次長)

今年度閉校式典があります。早いところでは10月からです。式典そのも
のは教育委員会が主催ということになります。もちろん皆様方にも出席して
いただくことになります。全部で6校閉校式典があって忙しくなります。1
0月から12月までとなります。皆様のご協力をいただきたいと思います。

(相川正光町長)

日程は、決まってしまっている？

(八木橋成人教育次長)

学校からの要望で、日程は決めています。一番遅いのが12月21日の鶴
田小学校です。終業式の次の日です。町長の日程にも入れてもらっています。
校長会を通じて式次第をどのようにするとか、感謝状をどのようにするとか、
調整をしています。閉校記念誌を各学校で作ります。その原稿依頼も来てい
ます。これまでの記念誌は、それぞれ学校の歴史も書いています。早いところ
では8月、9月で製本するところもあります。閉校式典の時に配る所もあり
ます。新年度になると開校式典もあります。

(竹浪勅佑委員)

新しい学校の古い体育館でやる？

(八木橋成人教育次長)

出来れば新しい校舎の中に250名入るランチルームが出来ます。統合記

念ホールという呼び名になっています。呼ぶ人の規模が合えば、ランチルームでやる方向で考えています。

(竹浪勅佑委員)

子ども達が入れば無理ですね。

(八木橋成人教育次長)

子ども達は無理です。子ども達を入れるとなると古い体育館となります。開校式典の時に子ども達をいれるかどうかにもなります。

(竹浪誠也委員)

校歌のお披露目は開校式典の時やるのか？

(八木橋成人教育次長)

それは、歌うつもりでいます。

(竹浪誠也委員)

古い体育館でやるのも。

(竹浪勅佑委員)

開校式典には、子ども達がいてほしい気持ちがあります。

(竹浪誠也委員)

全校で500人ぐらい。

(八木橋成人教育次長)

全部でなく6年生だけだったら可能です。統合したら、新しい校歌が歌えるように練習体制に入っています。

その点については、皆さんにも協議はしてもらいます。

(相川正光町長)

色々なやり方あると思います。子ども達全員か、来賓中心のやり方か。

(八木橋成人教育次長)

全校となれば、550名規模になります。

(相川正光町長)

体育館とグラウンドが出来ていない。式典の規模をどうするか。

(八木橋成人教育次長)

最後の竣工の時に大々的にやる方法もある思います。

新しい校舎が出来て、どういう形でも開校式はやらないといけないと思う。

(相川正光町長)

富士見小学校が開校したとき、議員であったので2階の廊下でやった記憶があります。そのときは、体育館出来てなかった？

(八木橋成人教育次長)

出来てないです。

(相川正光町長)

出来てなかったなので、開校式を２階の廊下でやったという記憶があります。
(八木橋成人教育次長)

富士見小学校は、年次の計画でやって、体育館は後に出来ています。

２階の廊下は広いです。多目的ホールで、今の校舎もそれくらいの広さがあります。

新しい鶴田小学校に広い廊下もありますけど、統合記念ホールは２５０名の規模です。吹き抜けにもなっています。

この件については、皆さんにも協議させていただきます。

(相川正光町長)

忙しいと思います。ハードの建設や閉校、開校、新しい荷物や持ってくる荷物、廃棄する荷物など。

(八木橋成人教育次長)

持ってくる荷物は、学校と調整して概ね決まっています。どこの学校から持ってくるとか、新しく買う物など。年度末は、そういうことも含めてバタバタすると思います。学校が終わってからでないと持って来れない物もあります。

(相川正光町長)

各学校が閉校した後も検討している。

(中野伸康総務課長)

それが一番の問題です。

他に何かありますでしょうか。

(長内公人委員)

通学路についてですが、町道の歩道の整備は出来ないものでしょうか。

(八木橋成人教育次長)

具体的に言えば、一金さんのところでしょうか。

(長内公人委員)

途中からは、歩道があります。カーブになっていて、新しい学校が出来れば国道側を通るのか？

(八木橋成人教育次長)

完成後は、旧国道側を歩いて正門から入るのが基本となります。今は工事車両があるので暫定的にそこを歩いています。大巻、強巻の児童は現在の給食センター側から入ります。

(長内公人委員)

学校側の指導もやってほしいと思います。

(八木橋成人教育次長)

はい。現行の鶴田小学校の児童は、従前と変わらないです。危ない箇所は

パトロールとかで対応します。現行の鶴田小学校以外の児童は、スクールバスとなります。

給食センターが完成すれば、今年の冬は、まだ全体の工事は終わりませんが、アクセスは正面から、新しい給食センター側からにします。

(竹浪誠也委員)

子ども達もキッチンと歩いていけばいいけど2列になったりする。

(八木橋成人教育次長)

建設整備課からもロータリーをこまめに入れてもらって、安全を確保していました。今年の冬からは、新しい給食センター側の正門からとなります。

(中野伸康総務課長)

他には、何かありますでしょうか。

よろしければ、最後に町長からお願いします。

(相川正光町長)

今日は、総合教育会議ありがとうございました。協議した教育施策の大綱は、これをもって大綱にしていきます。学校給食のメニュー、ご飯持参については、今説明を受けた形で実施していくことで協議調整になりましたので、子ども達に喜んでもらえるように、保護者に理解してもらえるように、お互いに努力していきましょう。今日はありがとうございました。

(中野伸康総務課長)

以上を持ちまして、令和元年第1回鶴田町総合教育会議を終了いたします。お疲れ様でした。